

森中だより



10月号

令和2年10月20日発行

横浜市立森中学校 校長 吉原 準一

第12回の森奏祭は、「森機一転」

「森奏祭には、音が必要なんです。『奏』の文字が入っているから。」という意見もありました。コロナ禍の中、合唱からアートへ。音でなく、アートで協同協力してゆく選択をしました。1つのものをみんなで完成させること。森中への思いを1つにすること。心を合わせることにイコール『奏でる』ことと考えました。「森機一転」の森奏祭につながってきます。学年でテーマを決めて、作品制作に取り組んでいます。三学年色々です。生徒たちが動き出しました。「森」が笑っているようです。

森奏祭のころは、十三夜です。再び満月の近づいてくる月齢です。今年のフィナーレをお月さまものぞきに來てくれるのかな？

校長 吉原準一



新たな森奏祭



森奏祭の準備が最終段階となりました。今年度の森奏祭は、『森機一転』というテーマのもとに、例年の合唱とは違った活動を、文化委員のメンバーで検討しました。「コロナ禍だからできない、今はできない」ではなく、「今だからできる」ことを全校生徒で取り組んでいます。森中にいた足跡を残せないか、何か活動したことを形に残せないかということで、創作活動を行っています。

一年生はストリングアート、二年生はモザイクアート、三年生はペットボトルを使ったアート作品を現在制作中です。ほとんどはじめての取組で、教員も生徒も本当に完成するのか、ドキドキの状態です。完成まであとわずか。どんな形で森奏祭を迎えるのか、今から楽しみです。

10月30日（金）森奏祭当日は、午後登校となり、全学級のクラス紹介動画の視聴と、文化委員が、生徒会本部役員、演劇部、美術部、吹奏楽部などあらゆる組織の力を結集して製作している

森中学校の愛唱歌「GREEN」の誕生秘話を語るショートムービーの鑑賞が待っています。夕暮れどきの校庭で、光と音のファンタジーを森中全員で楽しむことができたらいいなど。“森奏祭”として終われるように残り1週間もやりきましょう！！



中学校生活最後の森奏祭

3年学年主任 中谷 郁

今年の森奏祭に向けて3学年はペットボトルを使った制作に取り組んでいます。先々週より全校生徒、全職員に声をかけて、ペットボトルを集めています。もしご家庭でご不要になったペットボトルがありましたら、洗浄をして学校の方に持ってきていただくとありがたいです。大きさや形はどのようなものでも構いません。ペットボトルも本体だけではなく、ラベルやキャップも制作に使うクラスがありますので、ぜひ3点セットをお願いできればと思っています。

現在各クラス共通の制作以外は、それぞれのクラスで考えた様々なアイデアの制作に取り組んでいます。また各クラスではペットボトル制作だけではなく、クラス紹介動画やオリジナル動画作成を行っています。それぞれのクラスで係を分担して、当日に向けて一生懸命準備を進めています。

3年生に進級して、初めてクラスで取り組む行事です。生徒たちも積極的に楽しんで有意義に活動している様子が伝わってきます。今年は夕方のセレモニーもあり、午後開催になりました。セレモニーはグラウンドで行われますので、保護者のみなさまの入場は16時半からグラウンドにて参加できることになっていますので、ぜひ来校していただければと思います。中学校生活最後の森奏祭が子供たちにとって、心に残る最高のものになってほしいと願っています。

力を合わせて

2年学年主任 大谷 理仁

今年の2年生は、森奏祭に向けてモザイクアートを制作しています。各クラスでデザインを決め、絵をたくさんマスの目に分割します。マスを色鉛筆で塗り、貼り合わせていくと、大きなモザイクアートが完成する予定です。ひたすらマスを塗る作業は、単調に思われるかもしれませんが、しかし、仲間と話しながら、音楽を聞きながら、時には深く集中しながら作業を進めています。協力して一つのものを作り上げることは大変なことです。完成した時の達成感、何よりも得難いものだと思います。また、クラスの紹介動画作りも進めています。役割分担をしながら、笑いあり、特技ありの盛りだくさんな内容で、完成発表が今から待ち遠しいです。自分ができることを精一杯頑張り、それを周りの仲間が支える。その姿勢を、森奏祭のためだけではなく、当たり前ものとして行動ができる人になってほしいと願っています。

1年生折り返し地点です。

1年学年主任 内山 菜美

中学校に入学して早半年が経ちました。1ヵ月弱の休校期間もありましたが、学校生活が戻り、少しずつ中学生になってきました。10月9日には、連絡票が渡されました。中学校での初めての成績に、一喜一憂する姿がありました。各教科の成績を観点ごとに見て、担当の先生からのアドバイスを読み、これからの自分が何を頑張っていくかを真剣に考えたようです。人は忘れる生き物です。頑張ろうと考えたことを一つでも、二つでも行動にうつすことを期待しています。また、進路学習もスタートしました。進路主任の多田先生からの特別授業も行われ、これから歩む道についてそれぞれが様々なことを考えていました。勉強、部活動、係や委員会活動、行事、日常生活での出来事などが一人ひとりを成長させ、幸せな道を歩む糧となります。これからも生徒の成長を、職員一同全力で応援していきます。

今月の表彰

○男子ソフトテニス部

・磯子、金沢、西地区 個人戦 **5ペアが市大会出場**

準優勝 小澤 勝翔・成毛 琢磨ペア、 **3位** 岡村 楓月・渡辺 拓海ペア

ベスト8 藤田 能丈・前田 悟助ペア、 小林 咲翔・友部 佳祐ペア

福田 湊士・秋谷 奏瑠ペア

・神奈川県中学校ソフトテニス選手権大会 横浜ブロック予選

個人戦 **県大会出場** 小澤 勝翔・成毛 琢磨ペア、 藤田 能丈・前田 悟助ペア

団体戦 **県大会出場** ベスト8

○女子ソフトテニス部 市大会・県大会出場

磯子、金沢、西地区個人戦 **優勝** 渥美 爽世・松本 佳苗ペア

準優勝 坂口 亜美・坂間 柚梨ペア

3位 計良 花恋・高木 杏実ペア

○演劇部 横浜市中学校演劇発表会 第36回臨海地区会場(9月6日、12日)

優秀賞 演目「桜井家の掟」

○校内人権作文コンテスト

【最優秀賞】 3年2組 中村弘樹

【優秀賞】 2年1組 鈴木彩太 1年4組 石田夏希



森中学校のホームページでも情報を公開しております。

「森中学校」で検索してみてください。 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mori/>